

ディボーション質問表



ルカの福音書の21章は、イエスの苦難と十字架（20～23章）の一部です。エゼキエル書はエルサレム滅亡の預言（4～24章）の部分です。

6日（月）ルカの福音書 21：1～19節 神殿崩壊の前兆

1. 21章は、イエス様がエルサレムに入場された（ルカ 19：29～40節）最後の週の出来事です。週の前半にはパリサイ人たちとの最後の激しい論争（20：40節）がありました。その後、逮捕される前に神殿で語られた内容がこの章です。
2. イエス様は、何故わざわざこの貧しいやもめの献金を取り上げ、他の人々と比較して賞賛されたのだと思いますか（1～4節）？
3. この章の内容は、宮の素晴らしさに目を奪われている人々（21：5節）の話がきっかけになっています。この人々とイエス様の視点の違いは、どこから生じているものだと思いますか？

7日（火）ルカの福音書 21：20～38節 再臨

1. 20～24節は、神殿崩壊の時について、25～28節は再臨の時についての内容だと思われます。そして、29節からは、再臨を迎える為に気をつけて（34節）いることを教えるためのたとえ話です。
2. 終わりの日について、特に34～38節に注目してください。再臨のときに、悲惨な状況から逃れ、地上に取り残されることがないように、私たちが避けるべきことは何ですか？ 強く立っているために私たちはどうすべきでしょうか？

8日（水）エゼキエル書 17：1～10節 バビロンに反逆するイスラエル1

1. 17章は、1～10節がたとえをもってバビロン捕囚を描写し、11～21節でその解き明かしをしている形になっています。
2. 今日は、まず10節までの所だけを読んでどんな事が言われているのかを観察してみましょう。生き物は何が出てきますか？ また植物は何が出てくるのでしょうか？ それらによってどんな事が起きていますか？

9日（木）エゼキエル書 17：11～24節 バビロンに反逆するイスラエル2

1. 12～15節の部分は、1～10節のどの部分の説明になっているのか、見比べてみましょう。
2. この章の預言を通して現わされている神様の御心は何だと思えますか（22～24節）？ また今日一日、神様の声を聞き、神様に頼って生きるにはどうしたら良いか考えてみましょう。

10日（金）エゼキエル書 18：1～18節 個人的罪責の原理1

1. 18章の内容は、2節のことわざについて神様が語っている内容です。エルサレムの人々は2節のことわざをどのような動機で使っていたのでしょうか（4～9節）？
2. 18章には、「必ず生きる」という言葉が繰り返し出てきます（9、17、19、21、28）。この言葉に注意しながら、今日、明日とこの章を読んでみましょう。この言葉に込められている神様の思いを考えてみましょう。

11日（土）エゼキエル書 18：19～32節 個人的罪責の原理2

1. 神様の掟はどのようなものだと言われていますか（21節）？ 日本社会の常識は何ですか？ 失敗した人にチャンスはありますか？
2. 人は神様に対しても不平をいい、自分たちを正当化しています（25節）。それは本当ですか？ そんな態度にはどのようなことが待っていますか（30～32節）？

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**